

ハイチでコレラ患者数が増加(更新 2)

2011年6月24日 ProMED 情報



ハイチ[Xinhua News Agency]

清潔な飲料水の不足、雨季の開始と洪水により、5月に入りハイチではコレラ患者の増加がみられます。特に首都ポルトー・フランス Port-au-Prince と南部の半島で患者が急増しています。WHOは、ポルトー・フランスだけでは、5月2日から6月12日までに、新たに患者18,182名がWHOに報告されました。資金の不足から、2010年の流行発生時数百あったコレラ対策を行うNGOの数が約60まで減少したとWHOは述べています。ハイチ保健省によれば6月12日現在のコレラ患者数は344,623名で、そのうち死亡患者数は5,397名ということです。

ドミニカ共和国[Tiwan News, Associated Press report]

同国保健当局によると、新たに2名の死亡患者が発生しました。これにより死亡患者の合計は少なくとも48名となります。2名の死亡患者(29歳と61歳の男性)は首都の北側約93マイル(150km)のサンティアゴ Santiago で発生しました。ドミニカでは本年5月から、1,550名以上の患者が発生しています。

[ProMED 調整者]同国では、主にハイチから流れてきた汚染した川と春から夏にかけての雨季によりコレラの発生が散発的に続いています。